

みどりの翼

特集 なぞ

「なぞ」は好き？
頭をフル回転してなぞ解きに挑戦♪

2023年1月 Vol. 81



なのビィ



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

モナ・リザ、ヴィーナス…名画に隠された謎とは

「この絵、どこがすごいの？」

佐藤晃子／著 新人物往来社 2012年 720.79/リ リーンズ



美術鑑賞というと、小難しいものに思えるかもしれませんが。個人的には、詳しいことは分からないけどこの絵が好きだなーって感じで見るだけでも全然かまわないと思います。

でも絵画が描かれた時代や、作家の考えや描き方がもたらす効果など、作品に隠された数々の秘密を知っておくと絵画鑑賞がもっと楽しめると思います。描かれたモチーフをきっかけに絵画の謎を紐解いてみませんか？

彼らの“答え”を見届ける

「Q→A」

草野たき／著 講談社 2016年 913/リ リーンズ



学校・塾・懸賞など、5人の中学三年生にそれぞれ違う状況で課されたアンケート。彼らは本音と建前を使い分け、当たり障りのない回答をする。悩みを抱えながらも「問い」に真剣に向き合ううちに、5人の人生が少しずつリンクしていく様も興味深い。他人に才能を見出された義巳と朝子は、スタイリストとモデルとして将来一緒に働くようになる？と物語にない部分を想像してワクワクしている。

この本1冊でマンボウのことが丸わかり！

「マンボウのひみつ」

澤井悦郎／著 岩波書店 2017年 487/リ リーンズ



ネット上で「マンボウは死にやすい」という記事を見かけたことはありますか？それはデマです。172ページにハッキリと書いてあります。他にも「マンボウの皮膚は強い（あるいは逆に弱い）」「一度に3億個卵を産む」などの噂の真相が読むとわかります。この本でマンボウの秘密が次々と暴かれていきますが、研究は現在進行形であることが示されています。あなたもマンボウを研究してみる？

「可愛い」だけじゃない、謎解きの奥深さ

「サンリオキャラクターズパーティー 5分間リアル脱出ゲーム」
SCRAP/著 SCRAP 2021年 031.7/7 一般



パーティーを開くことになったサンリオのキャラクターたち。みんなで手分けして準備をしていると、数々の謎や暗号が立ちほだかります。謎解きを手伝って、パーティーを成功させましょう！というお話です。

「えー！めっちゃ可愛いー！」と思って開いてみると…あれ、意外と難しいぞ…。謎を解きながら物語が進んでいくので、早く続きが知りたい！と集中して読めます。

科学の世界は奥深くて面白い！

「国立科学博物館のひみつ 地球館探検編」

成毛眞/著 国立科学博物館/監修 ブックマン社 2017年 406.9/1 一般



東京・上野公園内にある国立科学博物館「地球館」で展示しているコレクションを中心に紹介している本です。

地球や生命、科学技術などいろんな分野のひみつや謎を体感することができます。本を見ているだけでもワクワクして、動物の剥製はぜひ足を運んで見たいですね！

「地球館」と隣接している「日本館」のコレクションを紹介した「日本館編」もあります。一緒にどうぞ♪

母はなぜ突然家出をしたのか？

「セブン・レター・ワード」

キム・スレイター/著 評論社 2017年 933/7 洋装



2年前に突然母親が家出をしてから、フィンレイの吃音はひどくなった。そのせいで転校先ではいじめられる毎日を通じていた。ある日、先生から「スクラブル」というボードゲームの全国大会の学校代表選手になるレッスンを受けないか？と誘われて戸惑う。また、フィンレイにはひとつ気になることがあった。それは、スクラブルのオンラインゲームで知り合ったアレックスの義理の母親のことだった…。

中央図書館では、他にもオススメ本を展示しているので見に来てね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

イケメン好きなら癒される～♪

「体も心も癒されるイケメン×ストレッチ」

井上要司／監修ほか ナツメ社 2022年 781.4/カ 151頁



一般的なストレッチの本なのですが、モチベーションを上げて続けられるよう、なんと二次元のイケメンたちの声と一緒にストレッチに励めるんです！10人のイケメンたちがそれぞれに体の気になる部分のストレッチを紹介していますよ。好きなイケメンのストレッチをしてもいいし、体の症状に合わせたストレッチでもOK！ストレッチをして心も体も元気になって、毎日を楽しく過ごしていきたいですね☆

スラータは太宰治とロックバンドの「キズ」が好き。

「スラータ、16歳の日記 ウクライナから来た少女」

スラータ・イヴァシコワ／文・絵 世界文化社 2022年 369.38/イ 151頁



2022年4月、日本の文化が大好きなスラータはやつとの思いで羽田空港に降り立ちました。ウクライナで戦争が始まったからです。スラータがどのようにして日本までたどり着けたのか、その記録を読むと今起きている事とは到底思えません。だけど現実です。戦争は日常生活をいとも簡単に壊します。スラータの後ろには、どこにもたどり着けずに命を失ってしまった数多くの人の存在を感じずにはられません。

どんな色に染まってもいい、それがその時の色だから

「千に染める古の色」

久保田香里／著 アリス館 2022年 913/リ 151頁



平安時代京の都、13才の千古は右大臣家の姫君として何不自由のない生活を送っていた。裳着と呼ばれる成人の儀式の準備が進む中、千古のもとには色とりどりに染められた衣が用意される。どうやって衣の色が作られているのか疑問に思った千古は、お付きの小鈴とともに内緒で屋敷にある染めの工房に向う。そこで見た藍染めをきっかけに染色の技術に心を惹かれていく…。美しい色の名前に心がときめきます。

予告：次号の特集は「ACTION!!」です。お楽しみに♪